

⑪ テーマ「日本語と外国語の違い」を書いて

みよう

- 日本語と外国語の違いについて、気づいたことをできるだけくわしく書いてみよう！

・日本語の特徴はどんなところか。

(例)

- 日本語には、ひらがな・カタカナ・漢字と三つの文字がある

- 日本語には敬語が多い
- 英語や中国語と比べると、言葉の順序が逆になるところがある

- 「わたしはあなたが好き」と「我喜歡你」など
- 日本語には英語の「I」や中国語の「我」に当たる言葉がたくさんある

- 「わたし」「ぼく」「おれ」「わい」「わて」「うち」
- 日本語にはものの様子や音を表す言葉やが多い

- 「コロコロ」「フラフラ」「ドンドン」「ワンワン」など
- 外来語が多い
- (コップ・ブラシ・ノート・ペンなど)

○○○日本語と外国語の違い

やまだ たろう

山田○太郎○

○ぼくが一番重要だと思う日本語の特徴は、ひ
らがなとカタカナと漢字と、三も文字があること
です。

○なぜかというと、外国人が日本語を習うときに、
文字を三も覚えなければならぬことは、とても
大変なことだと知ったからです。ぼくはそのこと
を、日本語を勉強中の中国語の先生から聞いて
始めて気づきました。ぼくが英語など他の国の
言葉を勉強するときも、文字が三種類もあつたら
とても大変で、すぐにやる気をなくしてしまうと
思います。自分の国の言葉を他の国の人たちにも
おぼえてもらうためには、文字は少ないほうがい
いんだと思いました。

○外国の人たちと友達になるためには、言葉がと
ても重要です。自分が他の国の言葉を覚えるのも
大事ですが、外国の人たちに日本語を覚えてもら

うことも大切なことだと思ひます。もし、ぼくに
たいわんじん ともだち こ にほんこ おほ
台湾人の友達ができて、その子が日本語を覚えた
いと言ったたら、やっぱりまず文字から教えてあ
おも みつ もじ おほ
げると思ひます。でも、三つも文字があると、覚え
たいへん
るほうも大変ですが、教えるのも大変です。

○ぼくは、ひらがなもカタカナも漢字も、みんな
にほん たいせつ ぶんか おも いがい
日本の大切な文化だと思ひるので、ひらがな以外の
もし
文字にも、なくなつてほしくはありません。だか
がいこくじん にほんこ おほ
ら、外国人に日本語を教へてあげるときは、まず
ひらがなだけをしっかりと覚えてもらつて、漢字
かんじ
にもカタカナにもふりがなを書いてあげたらいい
か
ともいひます。本や雑誌も、外国人のために、全
ほん ざっし がいこくじん すべ
て
ふりがなが書いてあるものが作られたらいいと思
つか
ひます。そうすれば、たくさんの外国人が、日本語
おほ
を覚えてくれて、たくさんの外国人と仲良くなる
がいこくじん なかよ
ことができると思ひます。